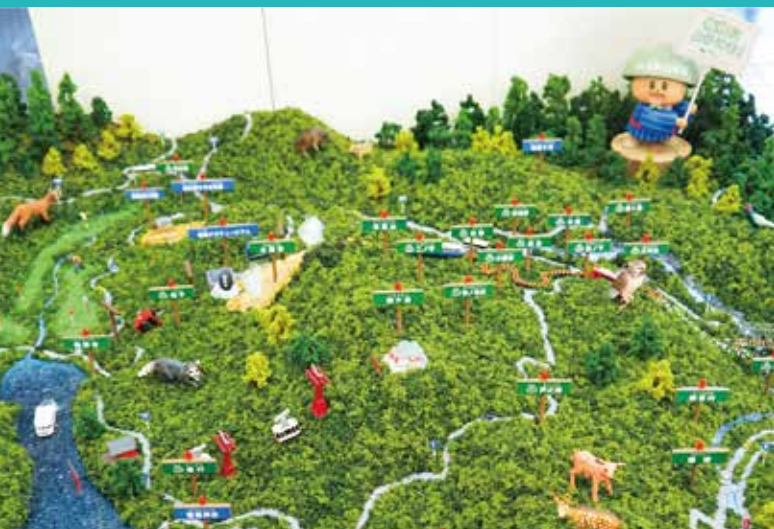


議会だより はこね

- 主な内容
- 新年度予算質疑 …………… P 2～5
 - 3月定例会 …………… P 6～7
 - 一般質問 …………… P 8～11
 - 委員会報告 …………… P 12
 - 意見交換会 …………… P 13
 - 議員活動報告 …………… P 14～15
 - 議会予定 …………… P 15
 - 温泉地域の道祖神 …………… P 16



三枚橋から見たジオラマと今の湯本



僕の町の
ジオラマができたよ。
左はジオラマ、右は本物の写真。
同じように見えるかな。
貸し出しもするので、展示したい
方は連絡ちょうだい。
待ってます★



現在は、役場分庁舎
1階に展示中です。

ジオラマ連絡先
観光課観光係 ☎ 0460-85-7410

**災害時等の
水道ネットワークの強化を
〈水道統合整備事業〉**

鈴木 美貴 議員



Q 水道統合整備事業で計画されている「配水管布設計委託」の具体的な内容は？

A 畑宿地区の管末から配水本管を延ばし新たに布設して、湯本の葛原浄水場まで管路（※1）をつなげて災害時等湯本地区の配水システムのバックアップ（※2）を行い、そのための本管の布設ルートを選定や付帯する必要な水道施設の選定、費用算出等を行う。

※1 管路—水道管などを地下に埋設するための専用の管

※2 バックアップ—管路の更新時または地震、漏水事故時などにおいて、可能な限り断水被害を回避し水道水の安定供給体制を確立する事

Q 須雲川地区に町営水道が供給されていない理由について。

A 現在、須雲川地区の組合水道で給水しているが、自治会から町営水道を利用する要望が上がっている。設備整備費用、維持経費の面で合意に至っていないが、災害時等の水道ネットワークの強化を目指し、自治会等のご理解、ご協力と収支計画上の有益性が確保できるよう協議を進める。

**経済効果が期待される
仙石原交差点周辺地域
〈仙石原交差点周辺まちづくり事業〉**

勝俣 陽二 議員



Q 仙石原交差点周辺まちづくり事業は、県は交差点改良、町はソフト面でのまちづくりといった役割分担をしながら行われているが、この事業の現在までの進捗状況について伺う。

A 主に交差点周辺に増えつつある空き家店舗の活用を進めるため、地域の住民や各種団体、事業者の方々とともに様々な取り組みを進めている。令和5年度は、これまでの取り組みの結果、それらの方々の一部から、実際に空き店舗を自分たちで借りて、交流スペースを共同で整備、運営したいという意向が確認されたことから、その実現に向けた周知や人脈作りを目的とした交流イベントを開催した。

Q 令和6年度の町としての仙石原交差点周辺のまちづくり事業の展開について伺う。

A 令和6年度からは地域の長年の懸案であった交差点改良の着行が見込まれており、まちづくりの機運は今後一層高まっていくものと考えており、県が実施する交差点改良を積極的に支援する。

**令和6年度予算を審議
3月議会の主な質疑応答**

3月議会（2月21日～3月15日）では令和6年度の予算質疑が行われ、災害対応、子育て支援、観光支援政策など、現在箱根町が抱える様々な行政課題について、各議員から活発な質疑が出された。

質疑内容がスマホで見れます



詳しくはこちら

**土曜日の保育時間が
延長されました
〈保育所費・認定こども園費経常経費〉**

山田 和江 議員



Q 認定こども園、保育所費に新たに計上されている業務支援委託料は？

A 認定こども園、保育所の土曜日の保育時間を平日並みに拡充しようとするもので、その場合の保育士不足、また、保育士の負担増を考慮して民間の人材派遣の保育士で対応しようとするもの。

Q これまで何回も議会で土曜日の保育時間の延長のことは取り上げてきた。観光立町の認定こども園、保育園に相応しい改正がされることは歓迎したい。土曜日の保育時間が18時30分までになるといって良いか。

A 土曜日の保育時間は8時から18時30分までの10時間30分を予定。

Q 派遣の保育士で安定的に保育を行えるか。

A 派遣の時間は8時間で固定の方が派遣されるので安定して保育ができる。

Q 将来的には正規の保育士で保育をするべきと考えるがどうか。

A 引き続き保育士の確保のために努めてまいりたい。

**空き家対策新制度で
いつまでも箱根に住んでほしい**
〈住みたいまち箱根推進事業〉

勝俣 剛一 議員



Q 新たな交付金として空き家家財道具等処分費交付金を創設することのだが、空き家になって家財道具が処分できずそのままになっている空き家も多いと聞いている。空き家対策として大いに期待しているが、その内容について。

A 移住を検討、移住を希望する方は増えているが、なかなかマッチする空き家が流通市場になく住む家が不足していることが課題であった。また、空き家所有者からの相談で亡くなった親族などの家財道具の処分に困って空き家を流通させることができないといった声が多くあった。

そこで、来年度から処分費の一部を負担する制度を創出し処分費の2分の1、10万円を上限として予算計上をした。実際、残された家財道具の処分費は多額になるケースも多くなると思うが、少しでも所有者の意識を変える後押しとなればと考え「空き家の放置と抑止」「空き家の流通促進」を図り、新しい制度としてしっかり周知していき定住希望する方に提供することを目的としている。

**経済的負担が軽減する
通学支援金制度**
〈高等学校等通学費補助事業〉

村野 由紀子 議員



Q 事業の概要と見込み人数は？

A ①電車やバスの3ヶ月通学定期券代から保護者負担額1万円を引いた額を補助する。対象者118名見込み。②箱根登山バスの共通券3ヶ月定期代から保護者負担額1万円を引いた額と箱根登山鉄道の3ヶ月定期代の3分の1の額に補助率2分の1を乗じた額を合算して補助する。対象者は14名見込み。③新たな通学支援金は、電車やバスを使用せず、保護者等が送迎する場合に、自宅の最寄りのバス停から小田原駅・三島駅・御殿場駅までの通学定期代の3分の1の額から保護者負担額1万円を引いた額を補助する。対象者は12名見込み（いずれも四半期ごとに補助）。

Q 当時、送迎されていた保護者の方からの声を、令和2年の議会で通学支援金の提案をした。大変良い制度なので今後も継続してほしい。

A お子さんを送迎されている保護者等の方に対して、通学支援金というかたちで本制度の充実をすることができる。制度の内容をしっかりと周知し、本事業を継続して運用し経済的負担の軽減に努める。

**箱根湿生花園を再編成し
メジャー施設に！**
〈箱根湿生花園費〉

佐藤 章子 議員



Q 箱根湿生花園は開園当初55万人もの入場者が高山植物を鑑賞されたが、近年の入場者の減数は地球温暖化が大きな影響をもたらしていると思える。現在の自然環境に合わせての植物群の育成や今後の園の維持管理をどう？

A 箱根湿生花園は開園当初と比較して、近隣地域にも同じような植物園の増加と平成10年頃から美術館、博物館施設が開業したことにより、徐々に入場者が減少してきました。

加えて、近年の地球温暖化により生息する植物群の変化に伴い高山植物の減少も植物愛好家の志向変化が顕著になってきたと思われます。

今後は自然環境も考察に入れて、箱根湿生花園のコンセプトは変えずに今までの環境では展示できなかった新たな種類の草花を増やしていく試みも考えています。



**おもてなしはきれいなトイレ
観光立国 世界の箱根へ**
〈公衆トイレ整備事業〉

川口 延明 議員



Q 箱根観光のお客様は、きれいな環境の公衆トイレを利用したいと望んでいるはず。そのため、こまめに清掃をし、清潔さを保つことは非常に重要である。箱根町内には町営、県営の公衆トイレがあるが観光地でナンバーワンにしてほしいと思っている。

A 令和6年度からは公衆トイレの日常清掃回数を、利用される頻度により見直しをする。最も多くの観光客に利用される湯本駅前公衆トイレは、清掃回数を平日は1日2回に見直し、土日祝日は3回にする。

また、強羅公衆トイレについても、土日祝日は2回の清掃を行うようにする。

Q お客様は、きれいなトイレを利用させていただくことで、箱根の印象が大きく変わってくると思うので、町内のトイレについてはぜひ清掃回数を増やして、快適にしてほしい。

A 公衆トイレは箱根を訪れる方々の印象を左右する大事な施設である。清潔なトイレはおもてなしの基本であることから整備を進めて参りたい。

起こってからでは遅い
「住宅耐震化」
〈木造住宅耐震化補助事業〉
折橋 尚道 議員



Q 町内の木造建築耐震化の現状と耐震基準改正の内容は？

A 町の木造住宅4,799棟のうち、昭和56年以前に建てられた旧耐震基準の家は2,443棟、新耐震基準で建てられた家は2,356棟。旧基準の家は震度5の地震に耐える基準であったが、新基準は震度6～7に耐える設計となった。

Q 補助金上限を100万円に引き上げ、耐震化を促進させる狙いがあると思われる。また、店舗兼住宅としている住まいも多いが、その場合でも補助対象となるのか。

A 耐震改修費用は、平均で約300万円となっており、自己負担額が重荷になっているので、上限額を100万円に引き上げ耐震化を促したい。住宅兼店舗の場合でも補助対象となるが、建物全体の延べ面積で、店舗部分の床面積が1/2以下となっているので双方を比較して、住宅部分の面積が大きくなければならない。



もっと伝えたい金太郎伝説
〈観光案内板整備事業〉

勝俣 泰彦 議員



Q 金太郎伝説解説案内板の整備に至った経緯は？

A 金時山に至る箱根側の登山道には4つの金太郎伝説にまつわる名所があり、現在はその4箇所に名称を記載した標柱が建っているが、標柱では金太郎伝説の由来や解説などができていないことから観光案内板を設置。

Q 観光案内板の設置箇所や表記内容は？

A 設置予定箇所は公時神社元宮で、ほこらとマサカリが設置されている「公時神社奥の院」、金太郎と姥が岩の下で一緒に住んだと伝えられる「宿り石」、金太郎が蹴ったと伝えられる「蹴落とし石」、金太郎がお手玉として遊んだと伝えられる「手毬石」の4箇所を予定しており、教育委員会の協力を得ながら記載内容を精査する。また、外国人観光客も多く見られることから、解説板の内容を英語でも記載する予定であり、QRコードも活用し、中国語や韓国語等にも対応していく予定であり、自然景観だけでなく、地域の文化や歴史を感じるよう対応したい。

国際観光地箱根の玄関口湯本に
賑わい・交流空間の創出を
〈湯本地域公共施設活用事業〉

沖津 弘幸 議員



Q 公募まで地域住民の意見聴取についてどのように考えているか？

A 地域住民の意向調査は、令和2年度自治会や観光団体に調査を実施した。

今年度は民間事業者へのヒアリングなど、意向調査を中心に実施してきた。

地域住民の意見聴取は非常に大切であり、コロナ禍で対面説明会の場ができませんでしたので、4月の実施方針案の公表後に「説明会」を開催する。

本対象地は、地域住民にとっても思い入れのある場所だと認識しているので、本事業のコンセプトにある「国際観光地箱根の玄関口にふさわしい賑わい・交流空間の創出」の実現に向けて「このような施設ができてよかった」と思っていたできるように、引き続き丁寧に事業化の検討を進めていきたい。

また、観光客用トイレ、ごみの集積所や防火水槽の設置といった機能を必須条件として位置づけている。

8つの事業で友好関係を深める
〈洞爺湖町姉妹都市提携60周年事業〉

稲葉 親太郎 議員



Q 姉妹都市提携60周年を迎えるにあたり、様々なイベントを計画しているということだが、どのようなイベントを計画しているのか事業概要を伺う。

A 姉妹都市提携60周年を迎えるにあたり、町では両町の友好関係をさらに深めるためには、どのようなことが出来るのかを洞爺湖町の担当者とオンラインで打合せを行いながら決定した。

その結果、7月4日に湯本富士屋ホテルで記念式典を行うほか、お互いの町のイベントへの参加など、全部で8件を実施していくこととした。

- ①60周年記念式典の開催
- ②5月に開催される洞爺湖マラソンへの参加
- ③9月に開催される北海道ツーデーマーチへの参加
- ④本町で開催される大名行列への洞爺湖町の参加
- ⑤これまでの両町の歩み等を紹介する記念誌の作成
- ⑥60周年を祝う懸垂幕の作成
- ⑦洞爺湖町と共通したデザインのポスターの作成
- ⑧ジオパークの企画展の実施

討 論

私たちは予算案をこのような理由で賛成／反対しました

緑風クラブ

賛 成

令和6年度の予算編成も当町の柱である第6次総合計画後期基本計画に沿った予算編成を行っており、きちっとした目標に沿った進め方である。

町長が施政方針でも、前年と同じく、町民、事業者らと、一丸になって歩みを進め、町づくりにおいては「誰もが住みたい」「誰もが行ってみたい」と思えるオンリーワンの観光まちづくりを掲げていることは、大変良いことである。

今回の予算では大きな工事で環境センターの粗大ごみ処理施設改修や宮ノ下町営駐車場の工事、湯本小学校の長寿命化工事等があるが慎重に進められるようにされたい。

町営の観光施設では地域の活性化につながるように誘客、接客など対策を進めてほしい。

また、財源が限られているので、公共施設の老朽化を踏まえて施設の縮小、廃止を忘れることなく、地域の活性化等を最優先の課題として、町民が安心して生活できるように、しっかりと先を見据えた町政運営をお願いし賛成といたします。

至 誠 会

賛 成

国際観光地箱根にあっては、観光業は着実な回復基調にあり、ようやくコロナ禍以前の活気を取り戻しつつあるものと思います。しかしながら、依然として進行する少子化、人口減少は労働力不足を招き、深刻な社会問題となっています。また、近年の物価高騰は社会経済情勢の先行きを不透明にするだけでなく、町民一人ひとりの生活に大きく影響を与えるため、物価動向に注視していく必要があります。

令和4年度からスタートした第6次総合計画後期基本計画は、中間年度である3年目を迎え、これまでの取り組みの成果や課題を踏まえ、将来像の実現に向け何が必要か、何をすべきかを捉える重要な時期に差し掛かっています。

今後、公共施設の老朽化に伴う建設事業が多く控えていることもあり、中長期的な財政状況はますます厳しくなることが見込まれていますが、職員一人ひとりがより一層の未来志向で取り組んでいかれることを要望し、賛成討論といたします。

〈お知らせ〉

議会報告会を 開催します

コロナ禍で開催を延期しておりましたが、次のとおり実施しますので皆様のご参加をお待ちしております。

日 時

令和6年5月29日(水)
午後7時から8時半まで（予定）

場 所

箱根町役場本庁舎
4階会議室

内 容

令和6年度予算審議等

どなたでもご参加いただけます。

日本共産党

反 対

本予算には我が党が求めていた切実な住民要望が予算化され、認定こども園、保育園の土曜日の保育時間が午後6時半までになること、また、仙石原文化センターにエレベーターが設置されること、耐震改修補助金が50万円から100万円になったことなどは評価できる。

しかし、固定資産税の超過課税が実施されていることに対して住民の間からも「当分の間と言っていたのにいつまでやるのか」という批判の声が上がっている。

同時に、固定資産税における「国際観光ホテル整備法」による不均一課税で4131万円が軽減されていること、また、誘客宣伝事業として、問題がある大阪関西万博に三島市と共同でブースを出展すること、ごみ処理広域化において今後の経費が明らかになっていないことなどは認めることはできない。

今、物価高騰で町民の生活や生業は大変厳しい。町長は「消費税減税」を国に働きかけるべきだ。

3月定例会 (2月21日～3月15日)

議決件数 (33件)

条例改正 (15件) 可決

- 箱根町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 箱根町監査委員条例及び箱根町水道事業及び公共下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 箱根町防災会議条例の一部を改正する条例の制定について
- 箱根町手数料条例の一部を改正する条例の制定について
- 箱根町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について
- 箱根町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の制定について
- 箱根町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について
- 箱根町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について
- 箱根町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について
- 箱根町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
- 箱根町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
- 箱根町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について
- 箱根町水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について
- 箱根町議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について
- 箱根町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について

補正予算 (2件) 可決

1、令和5年度箱根町一般会計補正予算 (第6号)

補正額 15億260万1,000円

主な内容

○電子計算処理推進事業追加	148万円
○箱根トラスト推進事業追加	120万円
○ふるさと納税促進事業追加	4,954万1,000円
○諸費経常経費追加	913万5,000円
○財政調整基金積立金追加	5,045万9,000円
○戸籍住民基本台帳費経常経費追加	246万4,000円
○特別支援給付金給付事業追加	4,541万円
○緊急支援給付金給付事業追加	2,653万4,000円
○定額減税調整給付金給付事業	7,011万円
○心身障がい者福祉経常経費追加	104万3,000円
○介護保険特別会計繰出金追加	377万8,000円
○介護保険事業所光熱水費等高騰対策支援事業	248万円
○医療機関光熱水費高騰対策支援事業	94万5,000円
○省エネ家電買換え促進事業追加	320万円
○消防団員出動報酬追加	282万2,000円
○学校施設長寿命化事業追加	12億3,200万円
(継続費追加) ○学校施設長寿命化事業	17億8,900万円 (令和5年度から7年度までの合計額)
(繰越明許費追加)	
○電子計算処理推進事業	130万9,000円
○戸籍住民基本台帳経常経費	381万7,000円
○特別支援給付金給付事業	4,541万円
○定額減税調整給付金給付事業	7,011万円
○介護保険事業所光熱水費等高騰対策支援事業	248万円

- 医療機関光熱水費等高騰対策支援事業 …………… 94万5,000円
- 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業 31万円
- 省エネ家電買換え促進事業 …………… 320万円
- 森のふれあい館整備事業 …………… 7,173万9,000円

(繰越明許費変更)

- 緊急支援給付金給付事業 …………… 1億2,544万3,000円を1億5,197万7,000円に変更
- (地方債追加) ○学校施設長寿命化事業 …………… 限度額 9億7,790万円 (湯本小学校)
- (地方債変更) ○消防情報機器等整備事業 …………… 限度額 2億7,070万円を2億6,870万円に変更

2、令和5年度箱根町介護保険特別会計補正予算(第3号)

補正額 2,771万7,000円

主な内容

○介護報酬改定等に伴うシステム改修及び介護サービス等給付費の追加等

新年度予算

○令和6年度新年度箱根町一般会計及びその他11会計予算(予算質疑2~5ページ)

損害賠償の額の決定について

○神奈川県人事委員会による懲戒免職処分^の修正裁決を受けて復職した職員への給与の遡及支払いに伴う遅延損害金の損害賠償の額を定める。(損害賠償の額 54万5,444円 年3%の割合による遅延損害金)

人事案件

- 教育長の任命について 井上康樹氏(64歳)が再任されました。
任期は令和6年4月1日から令和9年3月26日まで
- 固定資産評価審査委員会委員の選任について 小林一規さん(宮ノ下在住)(新任)

議会議事案件

- 箱根町議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について(常任委員会の委員会構成を再編成するため)
- 政府に「再審法改正」を求める意見書採択について 総務企画観光常任委員会に付託となっていました。が、請願の趣旨について理解できることから「趣旨採択」となりました。

議員別議案賛否一覧

(賛否等が分かれた議案のみ賛否状況を掲載しています)

議案番号	議案名	議決結果	山田和江	鈴木美貴	勝俣陽二	佐藤章子	川口延明	勝俣剛一	村野由紀子	勝俣泰彦	稲葉親太郎	遠藤秀則	折橋尚道	沖津弘幸	山田成宣
1	箱根町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
4	箱根町手数料条例の一部を改正する条例の制定について	可決	×	×	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	-
5	箱根町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	可決	×	×	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	-
12	箱根町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	可決	×	×	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	-
16	令和6年度箱根町一般会計予算	可決	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
17	令和6年度箱根町国民健康保険特別会計予算	可決	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
18	令和6年度箱根町後期高齢者医療特別会計予算	可決	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
19	令和6年度箱根町介護保険特別会計予算	可決	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
31	箱根町議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	可決	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

※ ○：賛成 ×：反対 欠：欠席 -：議長は採決に参加しません。

(村野由紀子)

町の考え方を問う！

一般質問

3月定例会では、町政全般へ7人の議員が、13項目にわたる一般質問を行いました。質問者及び質問項目は、左の表のとおりです。原稿については質問議員が作成しています。なお、掲載にあたっては紙面の都合上、質問内容、回答共に、抜粋したものととなっておりますので、「ご了承ください」。

質問者	質問内容	ページ
勝俣 陽二	・地域公共交通のバス料金に対する町の補助について	8
折橋 尚道	・箱根町行政のデジタル化について ・自然環境・景観保全を図る施策について	9
稲葉親太郎	・持続可能なまちづくりについて	10
村野由紀子	・箱根町地域防災計画について ・物価高騰対策について	
勝俣 剛一	・空き家対策について	11
鈴木 美貴	・防災力の強化について ・ブランド力の強化について ・持続可能なまちづくりについて	
山田 和江	・補聴器購入助成制度の創設を ・小中学校に生理用品の常備を ・交通渋滞対策について	

【お詫ごと訂正】

前号の山田和江議員の一般質問の内容が、前々号と同じになっておりました。お詫ごと訂正いたします。正しくは、「物価高騰対策について・加齢性難聴への支援について・子育て支援住宅跡地の活用について」となります。

問は議員の質問 答は町側の回答です。二次元コードを読み取ると一般質問の動画がご覧いただけます。

地域公共交通の バス利用料金の補助の検討を

勝俣 陽二 議員



町 助成制度の見直しは現在のところ実施する予定はない。

問 町民にとって、地域公共交通であるバスは、重要な生活圏内での移動手段であり、町で生活する上での必要不可欠な生活手段である。しかし、多くの町民の方からは、そのバス料金に対して「高すぎる」という声が届いている。この「率直な町民の声」に対して町長の見解を伺う。

問 町で生活する上での必要不可欠な生活手段として利用している地域公共交通のバスの利用料金に對して、その補助を検討していただきたいが、町長の見解を伺う。

答 **町長** バス事業者からは、町内におけるバス路線は多くの区間が山岳地形でカーブ勾配が多いため、平坦な道路と比べて燃料の消費や車両の修繕の面で経費が多くかかることから、運賃にもそれが反映されていると伺っている。町におけるバス運賃につきましては、国の制度や本町特有の事情を踏まえながら、今後も継続的にバスが運行されるために適正な運賃が設定されているものと認識している。

答 **町長** 高齢者や年少者、障がい者の方々といった公共交通に頼らざるを得ない方々への必要な助成を行っているので、一般の町民の方々を対象とした助成制度については、現在のところ実施する予定はないものである。



行政のデジタル化や 景観保全が必要では？

折橋 尚道 議員



生活の向上と安心を担保する。
より良い景観確保を検討する。

問

「はこねの未来に向けたデジタルファースト」と題して、行政のデジタル化を進めるが、日常生活にどのように寄与するものなのか。

答

町長 手続きのオンライン化拡充として、各種手続き・申請のオンライン化や手数料・納税収納等のキャッシュレス化を推進する。マイナンバーカードによって、タッチパネルで申請書を作成する「書かない窓口」の実現。消防署への通報者が災害現場の映像配信を行い早期に状況把握する119番通報のライブ配信と広範囲で無線不感地帯をカバーするIP無線の導入で安心を担保する。

問

まちづくりと景観保全の両立をはかり、景観や自然環境を維持するには、基本となる景観計画・景観条例の改正が必要ではないか。

答

町長 景観計画と条例は、町民と観光客に愛される環境を創出することを目的としている。平成21年の施行以来、社会の変化に伴い、新たな色彩ガイドラインの作成など、運用上の改善が進められてきた。現行の景観条例には、事前相談や協議の明確な規定がなく、建築物の届出基準にも問題がある。これらの点を改善し、国土交通省の新ガイドラインに沿って、景観計画の改正を含む総合的な検討を進める必要があると考えている。



買い物対策として旧宮城野保育園跡地の有益な利活用方策とはどの様なことを考えているのか？

稲葉 親太郎 議員



小規模なスーパーや食料品も取り扱うドラッグストアであれば、条件により出店の可能性は十分にある。

問

令和6年度重点施策5にある旧宮城野保育園跡地の有益な利活用方策とは？

答

町長 買い物事情については、その充足度が十分とは言えないような状況もあり、将来的にはこれまで実施してきた施策以上の取り組みが必要ではないかと考え、今年度、先進事例の研究や町内での事業実施に向けて検討を指示した。

その一環として、移動販売については、マックスバリュ東海からの提案もあり事業展開に向けた協議を進めており、令和6年度から実施することになったが、その提案と同時期に、いくつかの事業者から町内での小売店舗の出店を検討したいが、用地がなかなか見つからないといった相談があった。その際、なぜ町に相談してきたのか理由を聞いたところ、本町の場合、一

定規模の民有地は、宿泊施設などの観光関係事業者による取得意向が強く用地取得に要する費用が高いため、出店が難しいとのこと。他市町村では、公有地に出店している事例もあるため、町に相談したいとのことである。

検討の結果、敷地面積が約三千平方メートルとそれほど大きくないため、小規模なスーパーマーケットのような食料品も取り扱うようなドラッグストアであれば出店の可能性は十分あるとのこと。



多様な意見を反映した 地域防災計画が望まれる



村野 由紀子 議員



町

だれ一人とり残さない計画の見直しを進める。



問 防災計画の避難所運営の男女双方の視点の配慮は？



答 **町長** 男性、女性、更にはLGBTなど性的マイノリティの方も適切な配慮ができるよう避難者全員が運営主体であるという意識の下の運営が求められている。防災計画の見直しを進めており、「性的マイノリティの方への適切な配慮や支援ができるよう努める」という記載を追記する予定。



問 強羅観光協会主催によるLGBTQ+ファーストステップQ&Aセミナーに参加し、NPO法人グッド・エイジング・エールズの代表など努める松中権さんのお話を伺った。10人に1人が該当すると言う調査結果が出ている。今後は、避難所のトイレやお風呂の配慮、性別の有無等の

検討。そして、私たちもですが、職員の皆様も当事者の方からお話を聞く機会、講演会やセミナー等に参加し、様々な場面での考えや対応を伺って進めて行っってはどうか



答 **総務防災課長** 企業の行った調査結果及び国の検討を踏まえ、性別に関わりなく利用できる広めのトイレ、多目的トイレ、多目的シャワー等の設置の対応、性別の記載など研究する。



問 地震による電化火災を防ぐ感震ブレーカーの設置は？



答 **総務防災課長** はこね防災ガイドブックの中で感震ブレーカーの周知を図っている。感震ブレーカーの更なる設置の促進について検討する。

増加する町内の空き家、 景観や生活環境への対応は？



勝俣 剛一 議員



町

総合的かつ計画的に取り組んでいく。



問 人口減少に伴い空き家の増加が予想され、景観や生活環境に深刻な影響を及ぼすことが懸念されるが町の対応は？



答 **町長** 我が国の空き家問題については団塊世代が平均寿命を超過し、多くの相続問題が発生する2040年問題に向けてさらに拍車がかかり景観や生活環境への影響が増大する懸念があり、総合的かつ計画的に実施することが必要。

町では平成30年に箱根町空き家等対策

計画を作成し、「空き家の現状把握と発生抑制」「空き家の適切な管理の促進」「空き家における利活用の促進」という3つの基本方針を定め取り組んでいる。町民からの苦情があった空き家に対し、関係する所管課が所有者への電話や通知等により改善をお願いし個別に対応している。対策を進めると

めには、庁内部局間の更なる連携を図る必要がある現状についての情報共有、今後の取り組みについて継続的に議論を重ねている。その結果、昨年空き家がもたらす防犯、衛生、景観などの多岐にわたる課題に組織横断的に対応し具体的な施策の協議検討、解決策の円滑な遂行を目的とし「箱根町空き家等対策庁内連絡会議」を設置しこの構成員に警察、自治会消防、都市整備課、環境課、税務課が中心となり担当していく。連絡調整は企画課が担い、連携を図り取り組んでいく。



避難場所・避難所・仮設住宅 建設は怎么样了なっているか？



鈴木 美貴 議員



町 防災計画を見直し、発災後の対応に万全を期す。

問 避難場所の確保・一時避難所の運営・二次避難場所の確保、仮設住宅建設について

の取り組みを伺う

答 町長 各地域の自治会長、役員、活動に参加している会員の皆さんに対して、日ごろから感謝の念をもっておりますが、必要な情報をインターネットを通じて入手できることから、自治会の加入率も減少しているが、コミュニティ活性化事業で行ったワークショップにおいて、解決に向けた課題やアイデアを町と地域で共有し、具体的な取り組みに着手してまいりたい。

答 町長 自主防災組織指定の避難場所107か所、町指定避難所24か所、一次避難所の開設・運営は自主防災組織が主体で行うことになるので、開設の手順書と資材をまとめたファーストミッションボックスを配備し共助による運営の推進を図る。二次避難所として、9つの大型宿泊施設と3ヶ月の受け入れ協定を締結しており、仮設住宅の建設は県の応急仮設住宅供給マニュアルにより、発災後2ヶ月頃から入居を始めると定めている。

問 地域コミュニティの維持の発災時の避難所運営、街路灯維持管理など自治会の重要性の啓発・加入促進

答 企画課長 情報伝達について工夫し、更なる多言語化は検討していく。

問 町公式LINEの情報発信の利便性向上とホームページ多言語化について

討していく。

湯本地区の渋滞緩和対策で 警察官による歩行者整理を



山田 和江 議員



町 警察の検証実施が困難ならば、町主体の検証を検討する。

問 国道1号線湯本地区における交通渋滞緩和について二つの対策を求める。一つは前回の答弁で検討するとなっていた、警察官の横断歩道における歩行者整理の実証実験と、二つ目に、足柄幹線林道の安全対策を万全にして住民が通行できるように県に要請すること。

答 町民課長 実施時期については整理員の配置にあたっての課題解決をすることを第一の優先事項として対応していきたいと考えている。

答 町長 交通渋滞対策を一步でも前に進めていくために、交通整理員の検証の実施を警察に要請する。なお警察による検証実施が困難である、または実施までに時間を要するときは、町が主体となって検証を進めていくことも検討する。

また、足柄幹線林道は小田原市と箱根町を結ぶ重要な路線の一つであり町の長年の懸案事項である交通渋滞の緩和に重要な役割を担っているため、県に対する要望を継続しつつ、機能強化についても働きかけていく。

問 警察が実証実験を行わない場合は町が行うとの対応は非常に評価する。どちらが行う場合でも実施時期はいつ頃になるのか。

答 都市整備課長 路面凍結の危険性があるとの理由のほかに安全確保のための整備を行っている。

問 町長 足柄幹線林道の冬季の通行はできないものか。

委員会活動報告

難題で3度の委員会にて趣旨採択を決定

総務企画観光常任委員会

委員長 勝俣 泰彦

12月定例会において、総務企画観光常任委員会に付託され、閉会中の継続審査となっていた請願第2号「政府に再審改正を求める意見書の採択」について、12月5日、1月18日、3月5日に審査を行った。

「再審開始要件の緩和、捜査機関の手持ち証拠の全面的開示、検察官上訴の禁止や制限」については、双方各々の考え方があり、一概にどちらの主張や考え方が正しいとの判断をすることは難しいと考えるが、請願趣旨は理解することができることから、採決の結果、賛成多数により趣旨採択すべきものと決定した。



多くの課題解決に向けて

教育福祉環境常任委員会

委員長 川口 延明

令和6年度予算も3月定例会会期中にすべて可決され、新年度に向けての準備がスタートした。

当委員会では早速3月19日に会議を開催し、決定した予算内容に沿って調査研究を進めることとした。

各委員より活発な意見が出る中、特に多額の金額がかかる湯本小学校の長寿命化をはじめ、ごみ処理広域化関連、湯本駅前の渋滞、少子化による今後の小学校の在り方、町営住宅の有効利用など多項目に渡る調査研究をしていくこととした。



議会との意見交換会 「星槎大学箱根キャンパス」



広報広聴委員会 折橋尚道



参加者

議会・広報公聴委員会委員
 星槎大学学長 西村哲雄
 星槎大学副学長 西永 堅
 学長補佐・教授 坂田映子
 大学院事務部部长 小林 学
 企画広報部部长 天野 恵
 箱根キャンパス長 安野一生
 副箱根キャンパス長 勝村 茂



意見交換会終了後
参加者全員で記念撮影



グラウンドのサッカー少年は
雨にも負けず、元気です

地域の要望を含め
できることは何でもやります。
私に話してください。



星槎大学箱根
キャンパス長
安野一生まで

仙石原中学校閉校後の校舎に「星槎大学箱根キャンパス」が開校して12年。この間、校舎やグラウンド、体育館の貸し出しをはじめ、箱根フェスティバル開催などを実施。仙石原自治会連合会の協力もあり、地域との連携を強化しています。

新規事業として、令和6年度より、箱根中学校のサッカー部と女子バスケットボール部の外部指導をお願いすることになりました。一流のコーチを派遣してくれるとのこと、期待が膨らみます。

星槎の2024年の重点分野では、

- ①「星槎・箱根町連絡協議会」を活かし、地域住民のニーズに対する調査研究及び支援を行う。
- ②社会貢献室の立案する公開オンライン講座を箱根町にも発信する。オンライン講座は、Zoomを使用して、スマホ教室やPC使い方講座などの発信を予定するようです。

議員と語り合いませんか!??

「議会との意見交換会」
開催希望について

少人数のグループでもかまいません。
ご希望の方は、ご連絡ください。



議会事務局
☎85-9570



《緑と青空のふれあい食堂》オープン

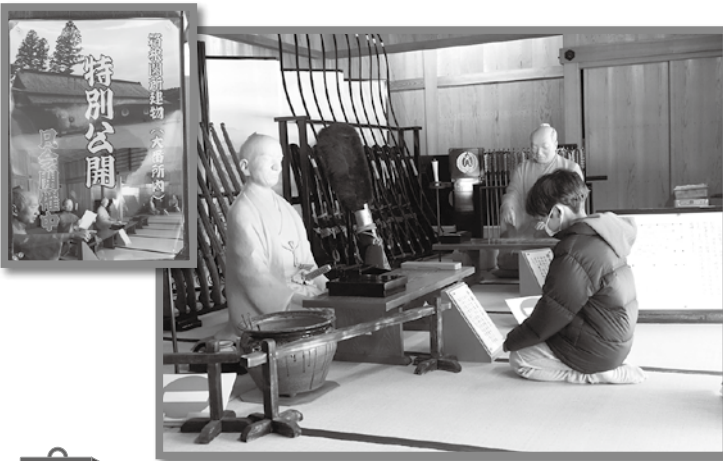


誰もが利用できるという、2階食堂で、ランチ(800円)をいただきました。地元商店の食材を使ったメニューぞろい。ここにも地域との連携重視を確認。自慢のメニューは『本格スパイシービーフカレー』

議 員 活 動 報 告



日常的な皆さんの活動に参加し、報告していきます。情報ください



3/10

箱根関所特別公開

今日は、関所内部に入室できる特別の日、僕はお役人さんの取り調べを無事にクリアー、はれて京都に向けて出発です。
(折橋尚道)



3/24

地球博物館裏早川河川敷

早川河川漁業協同組合が、令和4年から釣りの楽しさを子どもたちに知ってもらう為に始めた、マスの放流と釣りの体験会が行われました。竿にマスが掛かると大騒ぎでした。
(鈴木美貴)



3/18

仙石原すすき草原山焼き

「大迫力の山焼き」景観を維持するために、毎年恒例の行事です。火入れ直前に風が強くなり、心配されましたが、バチバチと音を立てて、あっという間に焼け野原に大変身です。
(勝俣陽二)



3/17



子育てシェアタウンの交流イベント

「はこねっこみまもる一む」とシェアコンシェルジュ説明会が3月17日に湯本地区で初開催されました。山崎集会所をお借りして、コンシェルジュと子どもたちで勉強やゲームをした後、みんなでカレーライスを食べ、午後は公園で楽しく遊びました。
(鈴木美貴)

3/1

3月1日開園 箱根湿生花園

園の入り口に咲くアセビは、『犠牲.献身』の花言葉、今が見ごろです。園内に展示されているたくさんの雪割草の話しを伺いながら鑑賞して、期待のミズバショウ見学に。まだまだ幼くて可愛い包が水面からチョッピリ顔を出していました。
(佐藤章子)





研修・講演会に参加



LGBTQ +ファーストステップ Q&A セミナー

～誰もが自分らしく居られるまちづくりのために～



認定NPO法人グッド・エイジング・エールズ代表を努めるなど、性の多様性が尊重される社会の実現に向けた活動をする松中権氏^{まつなかごん}を講師に迎え、日本や世界の事例を交えながら、宿泊観光施設が今からできる対応等の講演をお聞きしました！

強羅温泉旅館組合・強羅観光協会主催による性の多様性実現に向けたセミナーは、初めての試みで、最初の一步！

アライ (A l l y : 同盟、仲間の意味) の存在が大切だと感じました。

自分の身近にLGBTQ+の当事者がいることを意識して応援して行きます！

【開催日：2月29日 (木)】

(村野由紀子)

横浜国立大学との連携取組事例発表会

横浜国立大学大学院 国際社会科学研究院
伊集ゼミ 池島ゼミ

3月26日に開催された発表会は、学生による箱根町の財政状況について、他の市町村と比較して、財政状況の問題点を掘り下げた発表でした。この発表を参考に今後の議会活動やまちづくりにつなげて行こうと思いました。

(折橋尚道)



6月定例会の日程 (予定)

本
会
議

11日 (火)

18日 (火)

21日 (金)



※6月4日 (火) 開催の議会運営委員会において決定いたしますので、変更となる場合があります。詳しくは、議会事務局 (85-9570) までお問い合わせいただくか、町議会ホームページの議会カレンダーをご覧ください。

能登半島地震被災地に議員から義援金

議長・副議長が届ける！

元旦に発生した能登半島地震の被災者支援のため、当議会は4月3日、全議員から集めた義援金15万円を石川県東京事務所に届けてまいりました。



箱根町百景めぐり



温泉地域の 道祖神

道祖神（どうそじん）は良くお地蔵様と間違えられますが、本来は村境や峠などの路傍にある神様です。外来の疫病や悪霊を防ぐ神とされています。また、縁結びの神、旅行安全の神、子どもと親しい神ともされています。昔は、どんと焼きも道祖神の前で行われました。



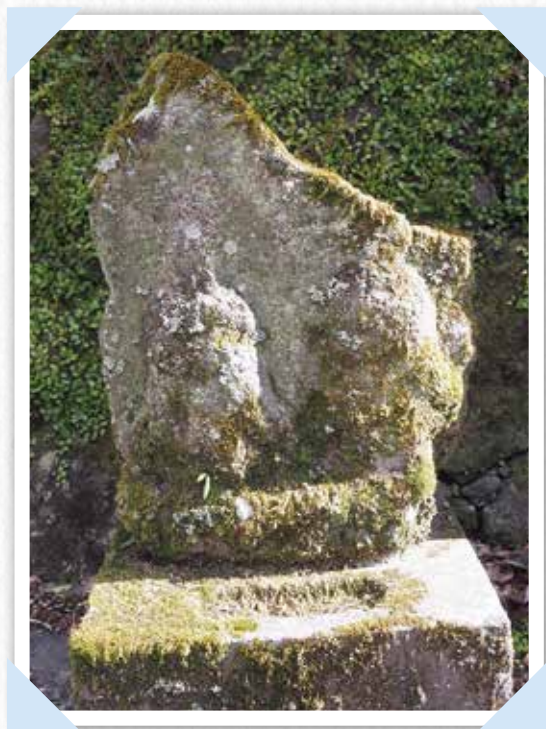
場所 大平台 山神社境内

大正の初めに、姫之湯付近と浅間山登山口付近にあったものが、山神社に移されました。江戸時代の嘉永3年の銘が刻まれている歴史のある道祖神です。



場所 小涌谷 集会所上

小涌谷は、明治時代から大正時代にひらけた集落で大正14年の銘の道祖神は、地域コミュニティが活発化していったことを物語る歴史の証人です。



場所 宮ノ下 宮ノ下箱根神社境内

かつては宮ノ下と底倉の境にあったようですが、宮ノ下箱根神社鳥居そばの水場横の境内に移されました。

投稿者・折橋尚道 協力・箱根町教育委員会

編集後記

私たちがこの「議会だより はこね」を作っている広報広聴委員会です。

今回から4ページ増やして、日常の議会活動や多くの情報をわかりやすく掲載していきます。

広報広聴委員会

委員長 村野 由紀子

副委員長 折橋 尚道

委員 鈴木 美貴・勝俣 陽二

佐藤 章子・勝俣 泰彦



左から 勝俣泰彦、折橋尚道、村野由紀子、鈴木美貴、勝俣陽二、佐藤章子